

平成29年度進捗評価シート
斑鳩町歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用(特別用途地区の指定)		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業		3
2 歴史的建造物修景事業		4
3 道路美装化事業		5
4 案内板等整備事業		6
5 電柱類景観改善事業		7
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用		8
2 文化財の修理・整備		9
3 文化財の調査		10
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 『斑鳩町が「ふるさと名物応援宣言」』等 他6件		11
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 「歴史まちづくり・観光まちづくり」に向けた官民協働のまちおこし	...	12

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)		13
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成29年度
		現在の状況	
歴史まちづくり計画の着実な推進に向けた取り組み		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	庁内においては、計画策定段階の庁内組織を継承・発展させた関係課による推進体制として斑鳩町歴史まちづくり推進調整会議を設置し、文化財部門(教育委員会事務局生涯学習課)とまちづくり部門(都市建設部都市整備課)は、より密度を高めた連絡・調整を行う。また、国・県等の関係機関との協議を行うとともに、適切な支援を得るように努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①本計画の着実な推進に向けて、全庁的な連携を図るため、「斑鳩町歴史的風致維持向上計画における各種事業の実施に向けた実施管理計画の策定に伴う政策企画調整幹事会議、及び政策企画調整員会議をそれぞれ2回実施した。 ②実施管理計画に基づき各事業の進捗管理の共有を図り、着実な事業推進を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	掲載事業に限らず広く庁内の連携を取ることが必要である。		
状況を示す写真や資料等			

●第7回 政策企画調整幹事会議・調整員会議
(平成29年5月24日)

【協議内容】

- ・実施管理計画について
- ・今後のスケジュールについて



●第8回 政策企画調整幹事会議・調整員会議
(平成29年10月30日)

【協議内容】

- ・実施管理計画について
- ・今後のスケジュールについて

《政策企画調整幹事会議・調整員会議の様子》



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成29年度
都市計画の活用(特別用途地区の指定)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 歴史的風致の維持向上のために歴史的建造物の保存・活用や空家・空地等を活用したまちあるき拠点の整備が求められ、そのためには、現行の都市計画の用途の緩和が必要であることから、特別用途地区の適用を検討しており、都市計画の適用については、まちづくり部門(都市建設部都市整備課)が担当する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年10月1日施行の法隆寺周辺地区特別用途地区内における建築物の制限の緩和に関する条例及び斑鳩町における特別用途地区の区域内における建築行為等に係る事前協議に関する要綱を運用し、当該区域内及びその周辺の良好な住環境との調和を図りながら、歩いて楽しむことができる店舗や飲食店等の立地を促し、もって活力とにぎわいのあるまちづくりを推進している。

進捗状況 ※計画年次との対応

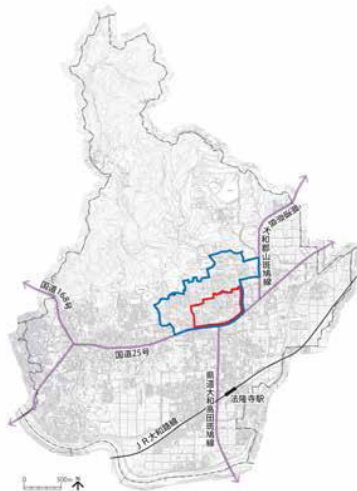
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 地区の名称…法隆寺周辺地区特別用途地区
- 地区の面積…24.9ha
- 要綱に基づく事前協議件数
 - 平成26年度 2件
 - 平成27年度 1件
 - 平成28年度 1件
 - 平成29年度 0件

位置図



拡大図



凡例

要綱に基づく事前協議物件所在位置

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

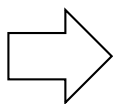
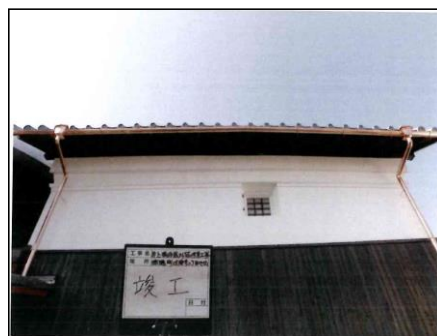
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成35年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物として指定を予定している建造物については、順次、その活用とあわせて修理・修景を行う。事業にあたっては、建物調査を行い、伝統的様式の復原を基本として基礎調査をふまえ、それぞれの建物の特色に即した修理・修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
斑鳩町まちなか観光景観形成事業補助金を活用し、歴史的風致形成建造物として指定している井上家住宅(旧北畠男爵邸)は蔵の改修による修景整備を行い、沿道が良好な歴史的景観になり、魅力あるまちあるきができるよう整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

■ 井上家住宅(旧北畠男爵邸)

実施前



実施後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

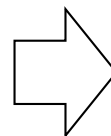
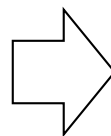
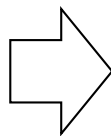
		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物修景事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成27年度～平成35年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	主な歩行者ルートとなるところを中心に、外観の修景整備を行うことで歴史的町並みを整える。合わせて、歴史的町並みの連続性を阻害している建物や塀、空地などについては、歴史的町並みに調和するよう修景を行う。修景にあたっては、策定予定のガイドラインに沿って、自然素材を用いた地域の伝統的デザインを踏襲することを基本とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区における建築物や外構に対し、望見可能な前面部分の修景工事に伴う費用の一部を助成し、町並みの連続性を創出している。年間に複数件を継続して修景整備を行っていく。 平成29年度は、4件の助成を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

■ 実施例

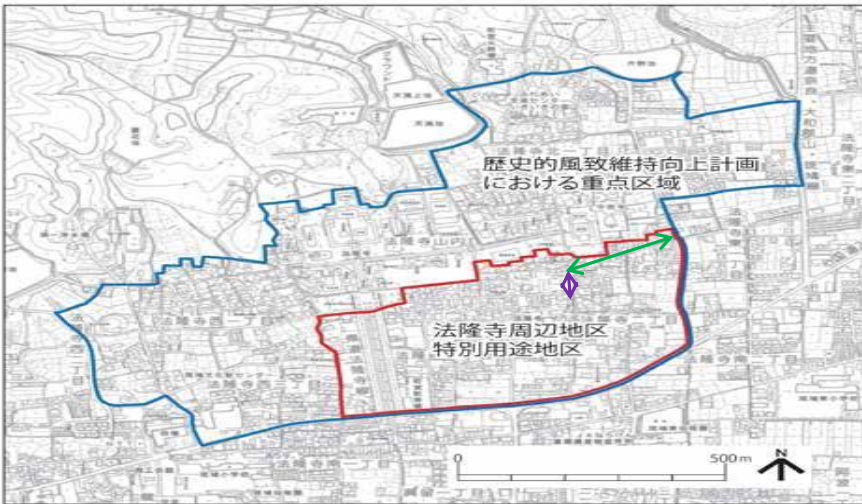
実施前

実施後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
道路美装化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～平成35年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	法隆寺門前の参道については、歩行者空間が美装化されているが、歴史的町並みの残る集落の道路はアスファルト舗装の車道になっており、連続した歩行者ルートとなっていない。回遊性を高めるため、三町地区に位置する町道202号線をはじめとした、まちあるき観光拠点をめぐるルートについて、舗装の美装化を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、道路舗装の美装化を行っていく。 平成29年度は、200mの整備を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
■実施例 実施前  実施後   道路美装化事業箇所 (過年度整備) 道路美装化事業箇所 (今年度整備)			

評価軸③-2

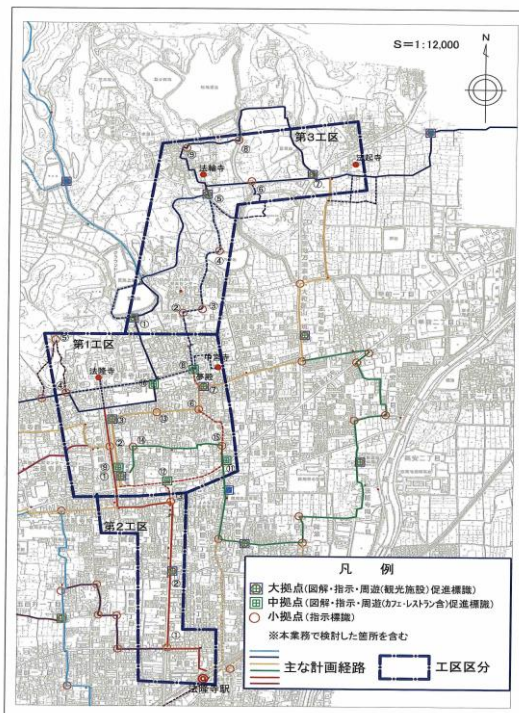
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
案内板等整備事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成30年度～平成35年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業		
計画に記載している内容	これまで様々な事業で案内板や案内サインの設置に取り組んできたが、その誘導システムを見直し、これらに加えて、まちあるき観光の誘導に必要な、わかりやすく、歴史的町並みに調和するデザインの案内板、案内サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
法隆寺周辺地区の歴史的風致を形成する文化財や観光地として必要な施設等、まちあるき観光を図るための観光案内サインの整備を行っていく。また、観光案内サインについても、町並みに調和したデザインとする。 平成29年度は、観光案内サイン整備工事(2箇所)を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

■ 斑鳩町観光案内サイン整備工事(2箇所)



■ 斑鳩町観光案内サイン配置計画



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
電柱類景観改善事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～平成35年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、町単独事業	
計画に記載している内容	無電柱化は歴史的町並みを生かす上で、効果の高い取組みであり、これまでも、重点区域内である西里地区内の2路線で無電柱化を実施した。今後、歴史的佇まいが色濃く残る道路(町道202、218号線など)を中心に、それぞれの路線に応じた工法を検討し、無電柱化等電柱類の景観改善を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
法隆寺周辺地区のまちあるき観光拠点をめぐるルートについて、一体的な歴史的風致を形成するため、電柱類景観改善事業を行っていく。 平成29年度は、電柱類景観改善事業に向けた検討委託を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
電柱類景観改善事業に向けた検討委託により、下記について調査・検討・協議を行った。 ・無電柱化整備工法の調査 ・地上機器設置場所候補地の検討 ・近畿地方整備局や電線事業者など事業関係機関との協議・調整 ・事業効果の向上、工期短縮、低コスト化を図るため、電柱類景観改善に合わせた、道路美装化の検討 ・無電柱化後の街路灯の検討 ・案内看板等サインの検討		

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財の保存・活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
◆文化財の普及・啓発など ・史跡藤ノ木古墳石室特別公開の開催 ①春季(1,731人/2日) ②秋季(418人/1日※2日目は荒天のため中止) ・斑鳩文化財センター(利用人数:9,431人/年)における展示会の開催 ①斑鳩町町制70周年記念事業 春季特別展「斑鳩古塔展 ―聖徳太子ゆかりの古代寺院の仏塔― 」(1,804人/37日) 開催期間:平成29年5月27日(土)～7月2日(日) ②斑鳩町町制70周年記念事業 秋季特別展「国宝藤ノ木古墳出土品里帰り展 ―藤ノ木古墳のお宝― 」(2,282人/30日) 開催期間:平成29年10月28日(土)～11月26日(日) ・講演会・講座の開催 ①春季特別展開催に伴う記念講演会「斑鳩の五塔」(150人) ②秋季特別展開催に伴う記念講演会「藤ノ木古墳の被葬者を考える」(80人) ・講座・教室等の開催 ①「大和発掘! 斑鳩考古学セミナー」(全5回)、 ②「こども考古学教室」(全2回) 1. こども勾玉づくり教室、2. こども鏡づくり教室 ③「斑鳩考古学講座」(全1回) 1. 勾玉づくり講座、(※2. 出土遺物整理作業体験は参加希望者がなく中止) ・文化財資料図書の刊行 ①春季特別展展示リーフレット ②秋季特別展展示図録 ③『斑鳩文化財センター年報 第7号』 ・県立法隆寺国際高校による藤ノ木古墳石室特別公開のボランティア活動 ・文化財の保存・活用に関わる住民や各種団体によるボランティア活動 ①法隆寺等における観光ガイド ②斑鳩文化財センターにおける受付・解説 ③藤ノ木古墳の除草作業などのボランティア活動		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の普及・啓発に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 史跡藤ノ木古墳石室特別公開  斑鳩文化財センターにおける展示会  春季特別展開催に伴う記念講演会		
 こども考古学教室  史跡藤ノ木古墳ボランティア活動		

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財の修理・整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の修理・整備・など ・史跡中宮寺跡の整備事業における基壇復元のほか、説明板の設置や、トイレや東屋の建築等の整備工事を完了 ・法隆寺における国宝中門等の建造物の保存修理工事の実施 ・法隆寺等における文化財防火デー合同防火訓練の実施など		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		引き続き、文化財の修理・整備に関する事業を推進して行く。
状況を示す写真や資料等		
 史跡中宮寺跡整備工事  法隆寺保存修理工事(国宝中門)  文化財防火デー合同防火訓練		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財の調査		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	斑鳩町は、法隆寺等で構成される世界文化遺産を中心に、全国的にみても重要な文化財が保存され、継承されてきた。こうした歴史的・文化的資源を、地域に暮らす人々とともに再認識し再評価することによって、世界文化遺産と一体となった歴史的風致として保存・活用する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の調査など ・町内遺跡(中宮寺跡周辺遺跡等)における発掘調査の実施 ・町指定文化財候補の調査として、法隆寺若草伽藍跡南門推定地における発掘調査の実施 ・国庫補助事業の調査として、大方家文書調査の実施 ・町指定文化財候補の調査として、春日古墳のミュージアム調査や、町内所在の歴史資料調査の実施 ・戸垣山古墳の測量調査や甲塚古墳の発掘調査における奈良大学との共同調査の実施		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、文化財の調査に関する事業を推進して行く。	
状況を示す写真や資料等		
 発掘調査(中宮寺跡周辺遺跡)  法隆寺若草伽藍跡南門推定地における発掘調査		
 春日古墳気象調査  奈良大学との共同調査(戸垣山古墳)		

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	平成29年度
年月日		掲載紙等	
『斑鳩町が「ふるさと名物応援宣言」』		平成29年10月5日	奈良新聞
『法隆寺参道に宿坊型施設』		平成29年12月6日	日本経済新聞
『法隆寺前に2宿泊施設』		平成29年12月7日	読売新聞
『法隆寺門前にホテル』		平成29年12月9日	朝日新聞
『30年8月に着工 門前宿「和空法隆寺」』		平成29年12月12日	建設新報
『当初計画4倍国道25号沿い まちあるき拠点見直し案』		平成29年12月18日	毎日新聞
『県から3件が認定「地域産業資源活用事業計画」』		平成30年2月20日	奈良新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業や関連事業の情報発信を行うことで、本町の「歴史まちづくり・観光まちづくり」への取り込み状況について、広く周知することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	整備の進捗状況や関連事業について、報道機関の積極的な活用をすすめていく。
状況を示す写真や資料等	

「まちあるき観光」推進

斑鳩町が「ふるさと名物応援宣言」

インフラ整備やPR充実

常楽市 古民家カフェ、コース設定

平成29年10月5日(木) 奈良新聞

法隆寺門前にホテル

斑鳩町 方針転換3年 20年までに2軒開業へ

平成29年12月9日(土) 朝日新聞

当初計画4倍 国道25号沿い まちあるき拠点見直し案

平成29年12月18日(月) 毎日新聞

30年8月に着工 門前宿「和空法隆寺」

平成29年12月12日(火) 建設新報

		評価対象年度	平成29年度
項目			
『歴史まちづくり・観光まちづくり』に向けた官民協働のまちおこし			
計画に記載している内容	歴史的風致の価値や魅力を引き出すことを意図しながら、広く情報発信を行い、歴史的風致を生かす観光振興に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
観光客の誘客とふるさとに対する愛着、観光産業の魅力を発信するため、産・学・官が連携して「いかるがWeeeeeK」を平成29年11月20日(月)～26日(日)の間に開催した。(来客数:6, 500人)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		平成30年度においては、「いかるがWeeeeeK」をはじめとする観光イベントを再編し、新たな枠組みでの観光振興事業を検討する。	
状況を示す写真や資料等			



「開催告知チラシ」

「気球あげアゲナイト2017」
気球フライトの様子

「開催告知チラシ」



常楽市2017～まちあるきマーケット～の様子

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:斑鳩町歴史まちづくり推進協議会	
会議等の開催日時:本年度の開催はなし(以下は会長の総括コメント)	
(コメントの概要)	
昨年度に引き続き、本計画により、民間の建物修理・修景事業が順調に実施されつつあり、あわせて、都市計画による特別用途地区の指定と連動した歴史的建造物を活用した、まちあるき観光の拠点となる店舗が順次開設されて、これまでにない回遊性が創出される可能性が強まっていることは高く評価されます。また、旅館建築が予定されており、宿泊施設の立地に伴う回遊性の向上、滞在時間の延長が図られることを期待します。さらに、宿泊施設の立地を契機に民間主導のまちあるき拠点の拡大にも期待します。 一方では、歴史的環境にふさわしい電線類地中化、道路高質化等、公共空間の整備については、道路の美装化が一部実施されましたが、電柱類景観改善事業については、まだ計画途上にあり、一体的な事業化に向け早期の取り組みが望まれるところです。 町並み整備が順調に進んでおり、民間による自主的な修景の進展等、一定の波及効果が見られるものの、連続性を阻害している建物等も依然として残っており、歴史環境にマッチした集客力の強い魅力施設の導入と合わせて、地域ぐるみで進んでいくことが望まれるところです。	
(今後の対応方針)	
・電柱類景観改善事業を含めた公共空間の整備を早期に取り組んでいく。	